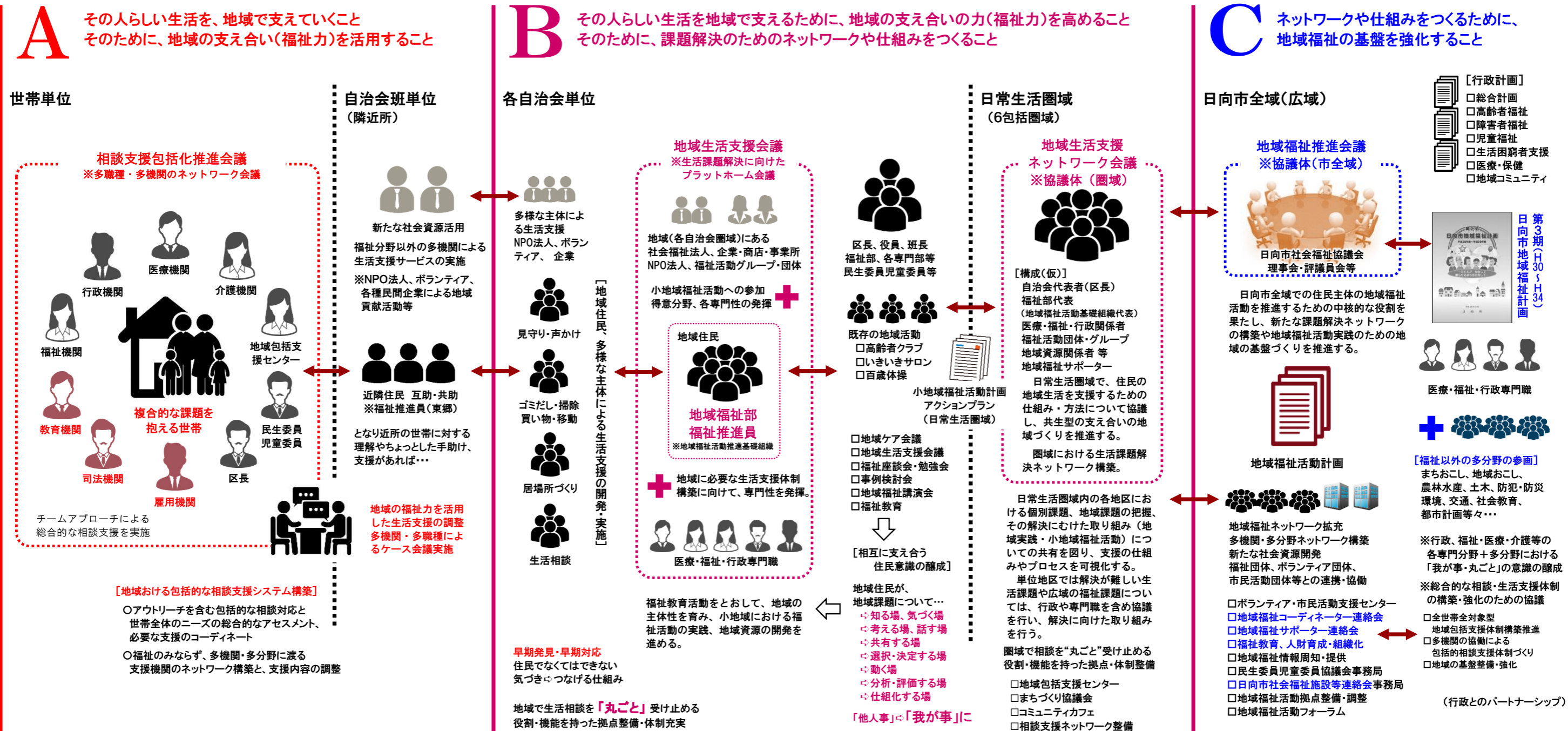


「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向けて

一人ひとりが主人公 (あらゆる生活課題への対応)
 地域に暮らす住民一人ひとりが、その人らしい自立した生活をおくることができるよう、地域生活課題を丸ごと受け止め、サポートする相談支援体制の充実・強化を進めます。

一人ひとりがサポーター (地域のつながりの再構築)
 地域に暮らす住民一人ひとりが、住民や地域生活に関心を持ち、暮らしの中にある個別の生活課題を他人事ではなく我が事(自分事)として理解し、生活課題解決のために自分たちができることを考え、実行する住民相互のサポート体制づくりを進めます。



コミュニティ・ソーシャルワーク (地域を基盤にしたソーシャルワーク) ※チームアプローチ

A:個を地域で支える援助 ※個別支援機能

ケースワーカー(相談支援員)7名 (日向市生活・相談支援センター心から4名、自立支援係スタッフ3名)

分野(高齢者、障がい者、児童)ごとの支援だけでは複合的な世帯の課題に対応が困難。多職種、多機関が連携し専門性を発揮しながらチームアプローチによる世帯支援が必要。

アウトリーチ 伴走型支援

個別課題を世帯全体の課題として把握し、各専門機関との調整・連携、近隣住民の協力・支援を調整しながら課題を抱える世帯を地域で支える援助を行う。

□世帯 □世帯と専門職 □専門職と専門職 □専門職と住民 □世帯と近隣住民 …に働きかける援助

地域を基盤とした個別支援ワーカーとして、支援する「個」に関連して、地域に働きかけるコミュニティソーシャルワーカー。

B:個を支える地域をつくる援助 ※地域生活支援機能

生活支援コーディネーター6名/コミュニティワーカー7名
 地域福祉コーディネーター19名(自立7名/地域5名/総務・財務7名)

地域に暮らす住民相互の支え合いの仕組みを構築するために、住民と住民、住民と地域(環境)に働きかける援助を行う。(住民の互助・共助を高めるための援助) 住民による小地域福祉活動の実践に向けた支援・調整を行う。

小地域福祉活動実践の調整役

個別課題の地域課題化 他人ごとではなく、自分ごととしての意識醸成 無関心から関心 共感に基づく自発性

関係ない福祉 やらされる福祉 押しつけられる福祉 あきらめる福祉 ではなく… 空気や水のような福祉が… 「誰もが誰かの力になる地域づくり」

個別支援と地域支援の中間領域を支援するコミュニティソーシャルワーカー

C:地域の基盤づくり ※地域支援機能

コミュニティワーカー7名 (地域力強化推進コーディネーター2名)

地域住民の主体形成を促しながら、課題解決に向けた地域の仕組みづくり、基盤づくりのための援助を行う。地域(住民)と組織・団体、多様な社会資源の組織化を図り、住民主体の地域福祉活動を計画的に推進する。

地域福祉活動実践の調整役

地域福祉活動計画作成しながら、課題解決に向けた地域の仕組みづくり、基盤づくりのための援助を行う。地域(住民)と組織・団体、多様な社会資源の組織化を図り、住民主体の地域福祉活動を計画的に推進する。

地域生活支援を意識した地域支援を展開するコミュニティソーシャルワーカー